

# 脱炭素社会への貢献 ～水道事業における脱炭素化の実現～

## ● 背景

- ◆ 地球温暖化による気候変動対策として、脱炭素社会の実現が緊要な課題となっています。
- ◆ 令和4年4月より地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律に基づき、都道府県、指定都市、中核市等は「地方公共団体実行計画(区域施策編)」を策定することが義務付けられました。
- ◆ 水道分野においても温室効果ガスの削減に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献する必要があります。

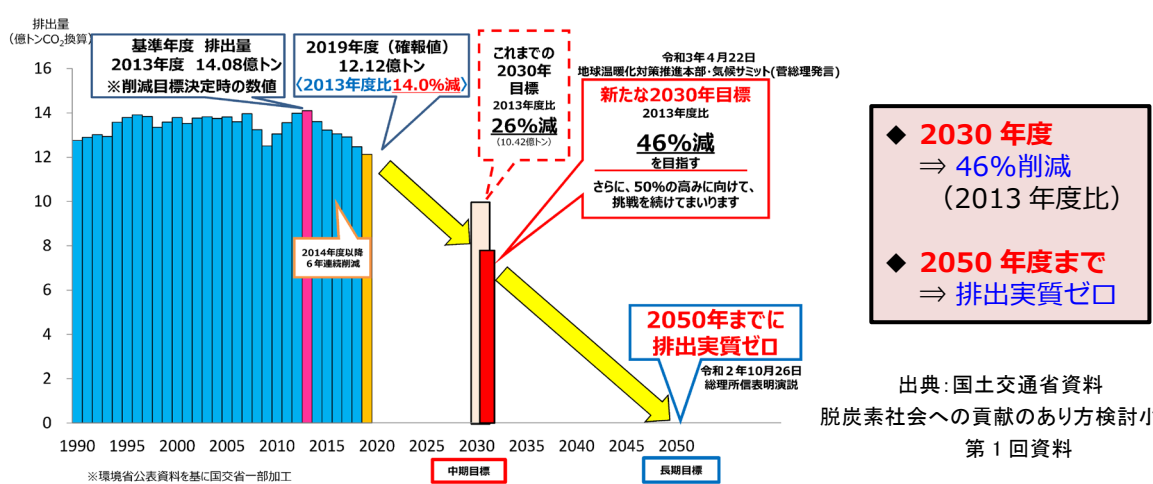


図1 地球温暖化対策計画(令和3年10月22日閣議決定)における我が国の削減目標

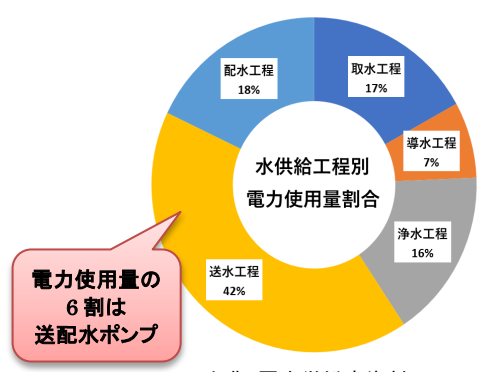


図2 水供給工程別電力使用量割合

◆ 2030年度 ⇒ 21.6万t-CO<sub>2</sub>削減 (2013年度比)

**【省エネの促進】** 省エネルギー設備の導入

- 省エネルギー・高効率機器の導入
- ポンプのインバータ制御化等の省エネルギー設備の導入
- 施設の広域化・統廃合・再配置による省エネルギー化の推進

**【再エネ利用の拡大】** ポテンシャルの活用

- 太陽光発電、小水力発電、風力発電、地中熱ヒートポンプ等の導入促進

**【需要調整】**

- 水道施設が電力の需給調整に貢献する可能性を追求

図3 水道分野の削減目標

## ● 日水コンの取組方針

脱炭素・循環型社会への転換を先導  
～脱炭素水道システムの構築～

- ◆ 水道施設のエネルギーポテンシャルを最大限活用し、温室効果ガスの削減につながる提案を行います。
- ◆ 最新技術の動向にも目を向けながら、脱炭素社会へ貢献いたします。

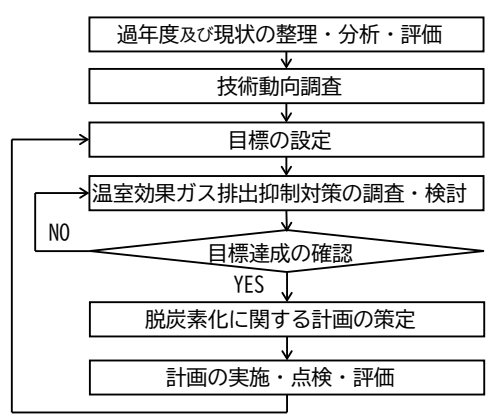


図4 脱炭素化に関する調査検討フロー

## ● 日水コンの取組内容

### (1) 導入可能性調査・計画策定

水道分野の省・再エネ化に関する導入可能性調査を実施し、水道温暖化対策推進計画を策定します。

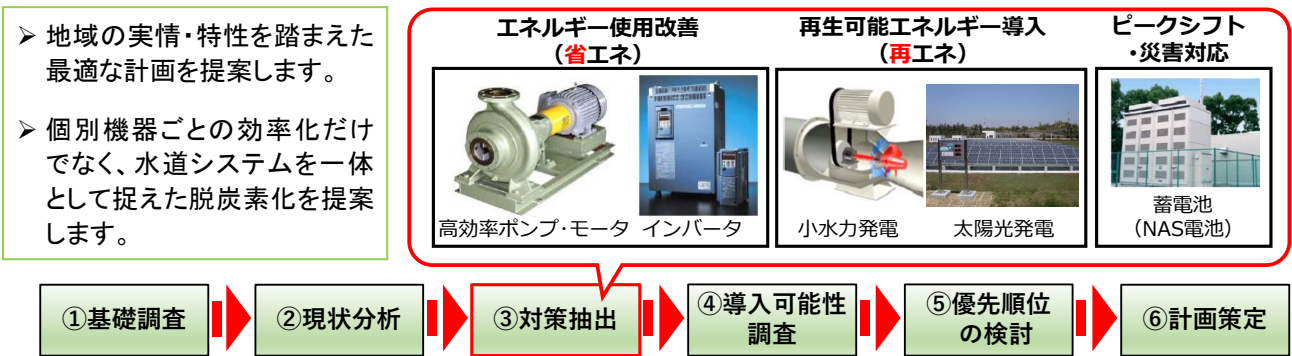


図5 導入可能性調査・計画策定

写真等の出典：厚生労働省資料

### (2) 脱炭素水道システムの構築に向けた方策メニュー

- 水道システムにおけるエネルギー消費のうち、送配水ポンプが6割を占めています。まずは、2030年度の削減目標を実現するため、送配水に使う電力使用量を減らす方法を提案します。
- 水道事業における脱炭素化の実現に向けては、これまでの対策とは別に新たな取組も必要となります。当社では、排出実質ゼロに向けて、中長期的な視点での取組についても提案します。

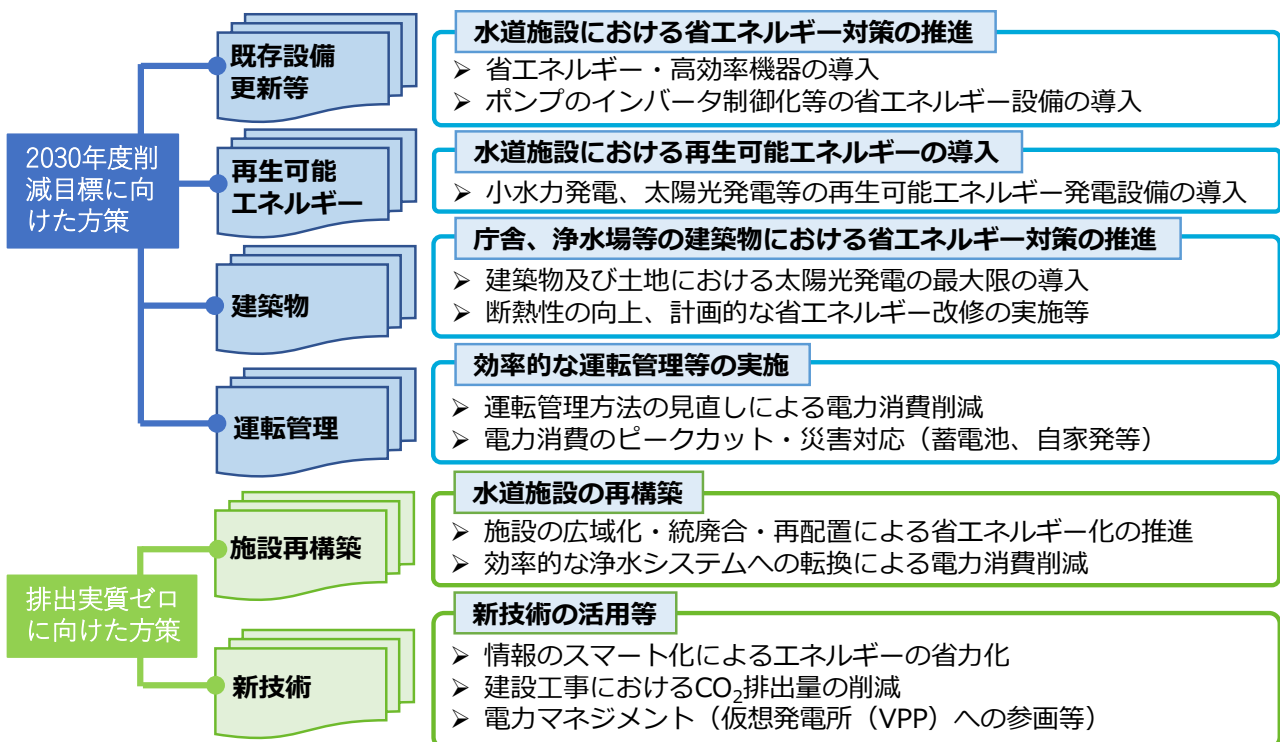


図6 脱炭素水道システムの構築へ向けた方策メニュー



〒163-1122 東京都新宿区西新宿 6-22-1 新宿スクエアタワー

TEL. 03-5323-6200(代表) FAX. 03-5323-6480

URL. <http://www.nissuicon.co.jp>

お問合せ先

水道事業部

TEL. 03-5323-6230

FAX. 03-5323-6483